



Ocean Family News

…… 海は楽しい 海はすばらしい 海は大切 ……

2009
Autumn
Vol.031

Contents

台風一過



台風 18 号が日本列島を襲った。台風によっていろいろな災害はあるが、自然界にとっては悪いことばかりではない。河川が氾濫すれば、川底の汚れがきれいに洗い流されるし、海の中もかき回されることで、新たなサイクルが生まれる。

台風一過の晴天の中、気分をリフレッシュしてみよう。

事務局からのお知らせ

われら海洋族

SUMMER SCHOOL2009 実施報告

コラム

三宅島の現在と未来

うみ便り

本の紹介

事務局からのお知らせ

スケジュール

ボランティアセンターからのお知らせ 編集後記



事務局からのお知らせ



2009 Ocean Family Christmas Party

日 時： 12月19日(土) 18:00~20:00

- ・今年も盛り上がりよう！エイサーライブ！
- ・みんなで出品！オーシャンファミリー写真展♪
- ・プレゼント盛りだくさんビンゴ大会！

場 所：六行会ホール8Fラウンジ（東京都品川区）※右図参照

参加費：大人3,000円、大学・専門生2,000円 小～高校生1,000円
未就学児 無料

同日開催・・・2009親子環境セミナー ※6ページ参照

「東京湾の海から世界の海へ ～海はどうしたら守れるか～」

参加費：500円（小学生以下は無料）



詳細案内と申込書は
後日ご案内します





われら海洋族

SUMMER SCHOOL 2009 実施報告

三宅島サマースクール 8/16(日)～21(金) 5泊6日

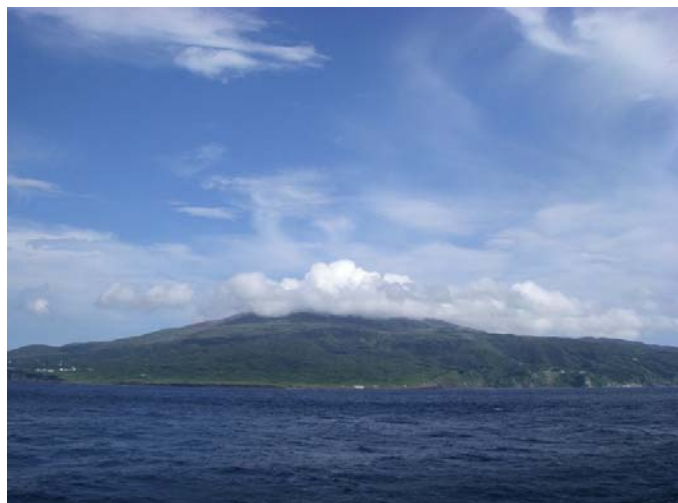
今年のサマースクールは、2000年の噴火後、10年ぶりに三宅島で再開しました。10年前のサマースクールOG、OBも加わり、島の自然、特に海を満喫しました。

10年前と比較して今の島の様子は、火山ガスの影響が若干あること、雄山が陥没したため10年前の山頂・八丁平の湿地帯は今となっては幻になってしまったこと、山頂部1/3はまだ火山灰が降り積もったままで、火山ガスにより立ち枯れた木々が不思議な景観をかもし出していること、長太郎池は地盤沈下で1M弱陥没したため満潮時は外海（そとうみ）と繋がること、モイヤー先生の研究所(以前のサマースクール宿泊所)は、今や藪に覆われて近寄ることも出来なかったことなど・・・10年前のスクールと比べて異なった環境はあるけれど、島の海や自然は今のままの姿で私たちを迎えてくれました。参加者は全員、島を訪れるのが初めてで、東海汽船が錆が浜港へ接岸、下船の瞬間から生きた火山島の持つダイナミックさを感じました。

島出身の指導者・穴原奈都さん(なっちゃん)他から、海、森、生きものなど自然全般のこと、人々の生活や噴火について・・・様々な角度から教えを受けました。阿古地区(学校下)の昭和58年の噴火跡地見学では、溶岩流で埋まった部落の真ん中に作られた散策路を歩きながら、自然災害(噴火)の恐ろしさや島で生活することの厳しさ、人々が協力して生きてきたからこそ大きな災害ではあったけれど人的被害がなかったことなど、貴重な話を聞くことができました。

黒潮の流れる海は深い青色で、そこにはたくさんの種類の魚や海の生きものたちが棲息しています。珍しい種も観察することが出来ました。また、三宅島はバードアイランドとして世界的にも有名な島で、天然記念物のアカコッコ(島のシンボルマーク)、カラスバト、イイジマムシクイ、カンムリウミスズメなど、実際にはその姿を観察することが出来なかったものもいますが、自然豊かな島であることを実感しました。

外洋に浮かぶ島の海は、その日の風向きやうねりでコンディションが大きく変わります。どこの海で実習するかは天気予報と朝の現地調査によって決定します。スクール中は、多少のうねりがあったものの海のコンディションには恵まれ、ほぼ予定していた海での活動を堪能することが出来ました。





われら海洋族

三宅島初日の錆ヶ浜海岸では、スノーケリングの練習と魚類の観察。伊ヶ谷（大船渡海岸）では、スキンドайビングの練習と飛び込み、そして魚類の観察。富賀浜では、テーブルサンゴの広がる海と魚類の観察、ウミガメも観察できました。長太郎池では、魚類やサンゴほか底生生物の観察。三宅島から漁船で30分ほど行ったところにある御蔵島。水をたたえる神秘的な島の周辺に棲息する野生のバンドウイルカを目の前で観察することができました。それはそれは感動でした。また、太路池では、植生や野鳥について学びました。

島のおばさんたちが作ってくれた島の食材を使った料理。バーベキューもおいしく楽しかったですね。星空観察では、電灯がない空気の澄んだ所にすれば、こんなにも星が見えるんだということを知りました。文化交流では、阿古地区に伝わる獅子舞を見せてもらい一緒に踊りました。

何もかもが初めての子供たち。島に5日間滞在したことですっかり「島っ子」になることができました。今回の経験をこれからも大切に、海や自然を楽しんでいって欲しいと思います。



今回のスクールの様子は、サンデー毎日（写真&記事 荒井眞治氏）に掲載されました。長くこのスクールを支えて下さった保護者、荒井さんをはじめ多くの方々に感謝すると共に、今後も子どもたちの育成活動にご理解、ご協力をいただけますと幸いです。

サマースクール事務局



三宅島の現在と未来

穴原 奈都

◎ 三宅島のいま ◎

2000年の噴火で全島避難、そして2005年に帰島できるようになってから5年目を迎えた三宅島。現在もなお火山ガスが山頂から放出し続けていますが、その二酸化硫黄濃度のレベルはだいぶ低下し、一般の人が問題なく生活できるくらいになっています。ただ、風下になりやすい島の東側の地域は「高濃度地区」とされ、住むことが許されていません。その一帯は火山ガスで立ち枯れてしまった木々が白骨化した状態で林立しており、異様な光景が広がっています。自然が作り出した圧倒される景色も、今の三宅島ならではの風景になっています。海の中は噴火直後に流出した泥流の被害からの回復も早く、美しく、生き物たちで溢れています。



夏の島挙げての一大行事、「富賀大祭」というお祭りも10年ぶりに復活し、観光客もまた増えつつあり、人々も活気を取り戻してきています。8月9～12日で「三宅島自然体験活動リーダー養成講座&子ども海の教室」を、オーシャンファミリーのみなさんのご協力をいただき実施しました。今年で3回目となるこのプログラムは、三宅島の豊かな自然を教材にして、島出身の若者を中心に海での体験活動の指導法を習得し、島の子供たちに海の面白さ、大切さを伝えていくことを目指し行っています。今年は受講生も島の子供たちもたくさん集まり、さらに盛大に行うことができました。天気にも恵まれ、たくさんの島っ子が笑顔で元気に楽しみました。

◎ これからの三宅島 ◎

三宅島では5年に渡る避難生活の間、島民は海から離れ、地域のつながりがいったん途切れてしまっていました。それらを再び取り戻すためには、島民が世代を越えて海を大切に作る輪を広げていくことが重要です。島外の人々にも三宅島の魅力を伝え、三宅で本物の自然のパワーを感じてもらうために、島民がもっと島の自然を理解することも必要です。三宅島の中の地域のつながりを大切に、火山島ならではの、他では感じられない自然や海の魅力を、私たち若い世代が、もっと発信していけるよう頑張っていきたいと思っています。





うみ便り

なはま 長浜海岸（三浦市）

三浦半島の先端ちかくの相模湾に面した長浜海岸は、砂浜海岸と磯が交互にあり、その多様な環境から、たくさんの生きものをみることができます。今回は、その中でもウミウシに注目してみました。



アオウミウシ



シロウミウシ



ヒメマダラウミウシ

8月3日（月）海水浴客で賑わう砂浜を横目に、左側の磯からエントリー。水温の高い浅場にいるアンドンクラゲをかいくぐっていくと、アオウミウシが目に入りました。程なく産卵中のシロウミウシと遭遇。うずまき状の卵もやっぱり真っ白でした。休憩を入れて、今度は右側の磯からエントリー。まず目に入ってきたのは美しい海藻でした。

まるで天女の羽衣のように光の当たり具合で色が変化し、レース編みのように繊細なアヤニシキ。ウミウシはというと、そんな海藻の下に隠れるようにしていたヒメマダラウミウシを発見。ドレスのようなフリルが可愛いウミウシです。リュウモンイロウミウシは、幼体と成体の両方を見ることができました。



リュウモンイロウミウシ
幼体（上）と成体（下）



アヤニシキ

一色海岸（葉山町）

9月16日（水）磯の観察でおなじみの小磯からエントリー。しかしアンドンクラゲの多さと台風接近による海中のうねりで、落ち着いて海中観察ができず、砂浜を横切ってしおさい公園正面の磯まで泳いで移動。なんとかフィッシュウォッチングできそうな所に着くと、大きな岩の上に密集するイダテンカジカを発見。岩とそっくりな色と大きな頭が印象的な魚です。少し深い場所に行くと、キュウセンやキヌバリ、ホンペラに寄り添って泳ぐチョウチョウウオなどをみることができました。波が当たる場所には、オヤビッチャやメジナ、オキナメジナの幼魚が群れていました。2時間弱が過ぎ、エキジットしようとするすると岩の隙間に愛らしい顔をしたカエルウオを発見。さらにアオリイカの群れや大きなクロダイの群れなど、一色海岸～三ヶ下でおなじみの見ごたえある光景もみることができました。海から上がると、アオアシシギが出迎えてくれました。（み）



イダテンカジカ



カエルウオ



オキナメジナ



オヤビッチャ



アオアシシギ



本の紹介

岩波科学ライブラリー159
フジツボ 魅惑の足まねき
 倉谷うらら 著



発行：岩波書店 定価 1,500円 + 税

磯で転んだときの怪我のもと。馴染みのない人には生きものとも思われない、岩の一部のような存在。

私たちが普段目にするフジツボの姿は、潮が満ちてくるのをじっと待つ、動かない姿です。

しかし、ちょっと掘り下げてみると、驚くほど奥深い彼らの世界が広がり出します。

この本では、イルカの歯からカニのえらまで、驚くような場所を棲家にするその生態や、愛らしくも貴重な幼生の鮮明な画像、ダーウィンの研究対象として、そして歴史的・文化的な視点から、その魅力を余すことなく語られています。

この本を読んで、また1つ、海に行く楽しみが増えました。



事務局からのお知らせ

2009 親子環境セミナー「東京湾の海から世界の海へ ～海はどうしたら守れるか～」

○日時：2009年12月19日(土) 16:00 開場、16:15～17:45 セミナー

○場所：六行会 8Fラウンジ (東京都品川区)



1部 「東京湾からのメッセージ」 講演者 金萬智男氏(30分)

■金萬智男氏プロフィール

1959年生まれ。祖父、父の代から東京湾で海苔摘み漁師を業として3代目。
 漁師歴25年。自然と漁師・市民が共存できる里海(さとうみ)をテーマに活動。
 東京湾の海苔やあさりの本当の味を堪能してもらうべく直販も行っています。



2部 「南太平洋の海からのメッセージ」 講演者 松宮愛氏(30分)

■松宮愛氏プロフィール

噴火前の三宅島サマースクールに参加し、モイヤー先生から海洋生物について直接教えるを受ける。
 日本大学生物資源科学科へ進学し、東京湾のサメについて研究。その後、ハワイ大学へ留学。
 日本へ戻って上智大学大学院地球環境学研究科で環境教育について学ぶ。
 休学し青年海外協力隊としてマーシャル諸島共和国へ環境教育隊員として派遣。現在は日本へ戻って復学中。



3部 みんなでディスカッション 「海はどうしたら守れるか」 コーディネーター海野義明(30分)

☆詳細は、後日別紙にてご案内いたします。



スケジュール

2009年10月～2010年3月

対象	日程	プログラム	備考
親子	10月31日(土)	海でハイキング！シーカヤックスクール	
	11月3日(火・祝)	チャレンジ！トレイルランニング ～仙元山～	午前半日プログラム
	11月22日(日)	新企画！そお～れ！みんなでビーチバレー体験会	
	11月23日(月・祝)	葉山ワカメ養殖漁業体験 ～種付け作業～	未就学児の参加可
	12月6日(日)	レッツ！ハイキング ～三浦半島最高峰！大楠山～	
	12月18日(金)	オーシャンファミリーネイチャーセミナー 「トライアスロン世界最高峰アイアンマン・ 世界選手権に挑戦！」 彦井浩孝氏	詳細へ後日 未就学児の参加可
	12月19日(土)	オーシャンファミリーネイチャーセミナー 「東京湾から世界の海へ」	未就学児の参加可
	12月19日(土)	みんなでハッピー！クリスマスパーティー！！	未就学児の参加可
	1月6日(水)	チャレンジ！トレイルランニング 新春！体覚ましランニング大会	未就学児の参加可
大人	1月23日(土)	チャレンジ！トレイルランニング ～峯山～	未就学児の参加可
	11月1日(日)	チャレンジ！トレイルランニング ～大楠山～	
	11月21日(土)	レッツ！ハイキング ～大楠山ハイク&阿部倉温泉～	
子ども	1月30日(土)	レッツ！ハイキング ～KAMAHAYAを歩こう～	
	10月24日～25日	秋の海っ子わくわくキャンプ	宿泊プログラム
	12月26日～27日	地球を学び尽そう ネイチャーキッズ ～冬のキャンプ～	宿泊プログラム
	2月20日～21日	冬の海っ子わくわくキャンプ	宿泊プログラム
	3月29日～31日	地球を学び尽そう ネイチャーキッズ ～春のキャンプ～	宿泊プログラム

- ◆ プログラムごとに持ち物、開催時間などが異なります。ご興味のあるプログラムがありましたら、詳細案内と申込用紙を郵送、FAXまたはメールにて送付いたしますので、お問い合わせください。
- ◆ 天候、海況、その他の理由でやむを得ずプログラム内容の変更、中止の場合がございます。





ボランティアセンターからのお知らせ

2009年10月～12月

葉山マリンキッズ

開催日	プログラム内容	
11/7(土)	リーダー研修会「秋のハイキングにおけるリーディング」	
11/14(土)	落ち葉をながめて秋の山を歩こう！～森戸川の自然を訪ねる～	葉山セミナーハウス
12/5(土)	リーダー研修会「海岸の漂着物の観察におけるリーディング」	9:00 集合 16:00 解散予定
12/12(土)	海からの宝物でマリンクラフトを作ろう！～漂着物からの発見～	担当:津田

さざなみ教室

開催日	プログラム内容	
10/18(日)	秋を食べよう～ランチを作ろう～(ダコさん)	
11/8(日)	落ち葉で遊ぼう～芋を焼こう～(カコさん)	葉山セミナーハウス
11/15(日)	落ち葉で遊ぼう～芋を焼こう～(タコさん)	9:00 集合 15:00 解散予定
12/13(日)	海辺の宝もの探検隊～貝がら・ガラス・???～(合同)	担当:津田

葉山海洋スポーツ塾

開催日	プログラム内容	参加条件ほか
10/11(日)	サーフィン(波乗り体験)Ⅱ	
10/11(日)	みんなで交流! 海辺のスポーツ大会(昼食で交流)	葉山セミナーハウス
11/8(日)	プールⅠ(基本)	9:00 集合 13:00 解散予定
11/22(日)	トレイルラン&基礎トレーニングⅠ(球技含む)	担当:津田
12/13(日)	プールⅡ(基本)	
12/20(日)	トレイルラン&基礎トレーニングⅡ(球技含む)	

- ★ プログラムに参加を希望される方は事務局(津田)までメール、もしくはお電話ください。
- ★ 上記以外にも、不定期のイベントもございます。ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。

ビーチクリーン(オーシャンファミリービーチクリーンクラブ:OBCC)

10/25(日)	定期清掃・海岸ゴミ調査	どなたでも	葉山・大浜海岸	10:00～11:30(予定)
11/29(日)	定期清掃	どなたでも	葉山・大浜海岸	10:00～11:30(予定)
12/20(日)	定期清掃・海岸ゴミ調査	どなたでも	葉山・大浜海岸	10:00～12:00(予定)

Postscript



個人的には、今年の夏は短く感じた。真夏日の日数が少なかったのか、海に行く回数が少なかったのか。その代わりに、早くから秋を感じている。9月の月上旬から、ふと道端をみると写真(アレチヌスビトハギ)のような秋の花が咲いていた。そしていま正に秋の花が満開である。クズ、タンキリマメ、ヤブマメ、ナンテンハギ、ヒガンバナ、ゲンノショウコ、キンミズヒキ、シロヨメナ、セイタカアワダチソウなどなど。そしてこれからは、実りの秋がやってくる。すでにどんぐりやクリはちらほら落ち始めているが、サツマイモ、ヤマイモ、カキなど、食欲の秋に合わせるかのように栄養満点な食べものができる。寒い冬に備えて、旬の美味を堪能したいものだ。(み)

発行者: NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター 〒240-0116 神奈川県三浦郡葉山町下山口1741

TEL: 046-876-2287 FAX: 046-876-2297 E-mail: info@oceanfamily.jp HP: http://oceanfamily.jp/

Copy Right Ocean Family Club. All Right Reserved.